

算数少人数数学級だより No.9

H30.12.18

新神田小学校 算数少人数担当

11月上旬～11月中旬の算数の学習について、子どもの様子、学習の成果と課題についてお知らせいたします。

【4年生】計算のやくそくを調べよう(計算のきまり)・・・全9時間

「つるぎコース」

計算の順序は「①左から、②()、③×・÷、④+・-」はよく理解でき、正しく計算できていました。問題を読んで、()を使って一つの式に表すこともよくできていました。しかし、()の中を先に計算してしまうためか、 $(○+□)×△=○×△+□×△$ の理解が難しかったです。

計算のじゅんじょ

- ふつうは、左から順に計算する。
- ()のある式は、()の中を先に計算する。
- ×や÷は、+や-より先に計算する。

「はくたかコース」

計算のきまりを一つ一つ押さえながら学習を進めました。発言やノートの内容から、よく理解できている様子が伝わってきました。式を少しずつ変形して、答えを求めることがなかなか定着しなかったなので、復習に取り組んでいけるとよいです。

$$\begin{aligned} 8 - (9 - 3 \times 2) &= 8 - (9 - \boxed{6}) \\ &= 8 - \boxed{3} \\ &= \boxed{5} \end{aligned}$$

「かがやきコース」

多くの発展問題に取り組み、×・÷は+・-より先に計算するということが、しっかりと定着しました。正しく求められるようになり、自信をもって自分の考えを積極的に伝えようとする姿勢が多く見られました。課題は文章問題です。内容を正しく理解し、式を立てられるよう指導していきます。

()を使った式の計算のきまりには、次のようなものがあります。

$$\begin{aligned} (\square + \circ) \times \triangle &= \square \times \triangle + \circ \times \triangle \\ (\square - \circ) \times \triangle &= \square \times \triangle - \circ \times \triangle \end{aligned}$$



同じ記号には
同じ数が入るよ。

【5年生】比べ方を考えよう(1)(単位量あたりの大きさ)・・・全14時間

「クジラコース」

平均を求める方法を考える学習に大変意欲的でした。合計に「0」を含めて平均を求めるかどうか考え、正しく平均を求めることができるようになりました。

プールの面積と人数

	面積(m ²)	人数(人)
A	450	36
B	520	40

混み具合について、1㎡あたりの量なの

か、1匹あたりの面積なのか分からなくなる児童が多かったので、1あたりの量がどれを指しているのか、数直線を用いて丁寧に読み取るよう指導しました。数直線の描き方は何度も復習したり、一斉に描いたりすることで徐々に定着してきました。


どんな式になるかな？
1㎡あたりの人数で比べる
1人あたりの面積で比べる

「イルカコース」

どちらが混んでいるか、数÷面積で比べると比べやすいことがよく理解できていました。人口÷面積で、都道府県ごとの人口密度を比べることに大変意欲的でした。人口密度を求め

る式は容易に立てられるようになったので、求める際は電卓を使って計算し、「上から2桁の概数にする」という学習に重点

北海道	5460000	÷	83457	=	65	(人)
石川県	1160000	÷	4186	=	280	(人)

 答えは四捨五入して、上から2けたのがいい数にしよう。

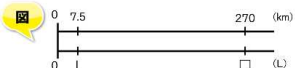
を置きました。

難しい文章問題では、数直線に数量関係を表してから求めるとよいことが分かり、進んで数直線を描く姿が増えました。単位量あたりの大きさを求めて比べるとどのようなことが分かるのかを自分の言葉で表現することが課題です。

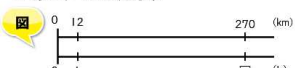
この場合、下の自動車の方が、少ないガソリンで長い距離を走ることができる。

ガソリン1Lあたり7.5km走る自動車があります。ガソリン1Lあたり12km走る自動車があります。同じ道を270km走りました。使ったガソリンの差は何Lですか。

1Lあたり 7.5km走る車

図  式 $270 \div 7.5 = 36$

1Lあたり 12km走る車

図  式 $270 \div 12 = 22.5$

差を求める式 $36 - 22.5 = 13.5$ 答え 答え 13.5L

